

## 8 社会人特別選抜

### (1) 実施学部・学科・コース及び募集人員等

学部	学科	コース	募集人員	出願資格等（下記(2)を参照）			
				ア	イ	ウ	エ
地域創生学部	地域創生学科	地域文化コース	2	●	—	●※	●
		地域産業コース	4	●	—	—	●
		健康科学コース	2	●	—	●	●
生物資源科学部	地域資源開発学科	—	2	●	—	—	●
	生命環境学科	生命科学コース	2	●	—	—	●
		環境科学コース	2	●	—	—	●
保健福祉学部	看護学科	—	2	—	●	—	●
	理学療法学科	—	2	—	●	—	●
	作業療法学科	—	2	—	●	—	●
	コミュニケーション障害学科	—	2	—	●	—	●

### (2) 出願資格等

ア 令和2年4月1日現在、満23歳以上の者で、入学時において3年以上（通算可）の職歴を有していること。

イ 令和2年4月1日現在、満23歳以上の者で、入学時において3年以上（通算可）の職歴、若しくはその他の社会的経験（ボランティア活動、介護、家事従事などを含む）を有していること。

ウ TOEFL 又は TOEIC（公開テスト）を平成30年（2018）4月1日以降に受験していること。

※地域文化コースについては、令和2年度入試に限り、出願時まで TOEFL 又は TOEIC（公開テスト）のスコアシートが手元に届かない場合や受験ができない場合、該当検定試験の受験申し込みを証明できる書類（公開テスト申込受領メールの写し等）を添付することで出願を認めます。

エ 次の①～③のいずれかに該当していること。

- ① 高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業した者又は令和2年3月31日までにこれを卒業する見込みである者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は令和2年3月31日までにこれを修了する見込みである者
- ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者又は令和2年3月31日までにこれに該当する見込みである者

### (3) 選抜方法

令和2年度大学入学者選抜大学入試センター試験を免除して、書類審査、小論文及び面接の結果を総合して選抜します。

### (4) 試験科目・配点、内容及び採点・評価の基準

学部・学科	コース	科目等	配点	内容及び採点・評価の基準
地域創生学部 地域創生学科	地域文化コース	小論文	100	論説・評論等を題材とする問題で、地域文化コースで学ぶ上での基本的な理解力、思考力及び文章表現力などを総合的に判断し、点数化して評価します。
		面接	100	地域文化コースで学ぶことに対する意欲・志向、日ごろの関心事などについて質問し、これらに対する応答の能力や内容、態度などを総合的に判断し、点数化して評価します。
	地域産業コース	小論文	100	論文・評論等を題材とする問題で、経営又は応用情報を学ぶ上での基本的な理解力、思考力及び文章表現力などを総合的に判断し、点数化して評価します。
		面接	100	地域産業コースで学ぶことに対する意欲・志向、日ごろの関心事などについて質問し、これらに対する応答の能力や内容、態度などを総合的に判断し、点数化して評価します。
	健康科学コース	小論文	100	論文や資料・図表等を題材として、「健康科学コースで学ぶ上で必要な読解力、論理的思考力、文章表現力などをみるための設問」と「理科（化学基礎及び生物基礎）の学力をみるための設問」を行い、これらを総合的に判断し、点数化して評価します。
		面接	100	健康科学に対する興味・学修意欲、健康科学に関する知識について試問し、論理的思考力や理解力を問い、その対応の仕方や内容などを総合的に判断し、点数化して評価します。

(試験科目・配点、内容及び採点・評価の基準の続き)

学部・学科	コース	科目等	配点	内容及び採点・評価の基準
生物資源科学部 地域資源開発学科	—	小論文	100	地域資源科学に関わる諸問題を題材として、問題の理解力、論理的展開力、洞察力、独創性及びこれら学問分野に対する関心度、志向性などを総合的に判断し、点数化して評価します。
		面接	100	地域資源科学において関心を持つべき事項等に関して質問し、それに対する問題意識、対応力、表現力等から、当学科学生としての適性、勉学意欲などを総合的に判断し、点数化して評価します。
生物資源科学部 生命環境学科	生命科学 コース	小論文	100	生命科学に関わる諸問題を題材として、問題の理解力、論理的展開力、洞察力、独創性及びこれら学問分野に対する関心度、志向性などを総合的に判断し、点数化して評価します。
		面接	100	生命科学コースにおいて関心を持つべき事項等に関して質問し、それに対する問題意識、対応力、表現力等から、当コース学生としての適性、勉学意欲などを総合的に判断し、点数化して評価します。
	環境科学 コース	小論文	100	環境科学に関わる諸問題を題材として、問題の理解力、論理的展開力、洞察力、独創性及びこれら学問分野に対する関心度、志向性などを総合的に判断し、点数化して評価します。
		面接	100	環境科学コースにおいて関心を持つべき事項等に関して質問し、それに対する問題意識、対応力、表現力等から、当コース学生としての適性、勉学意欲などを総合的に判断し、点数化して評価します。
保健福祉学部 看護学科	—	小論文	100	著書、論文、評論、資料などを題材とする問題で、課題に対する読解力、洞察力、論理的思考力、文章表現力などの基礎学力を総合的に判断し、点数化して評価します。
		面接	100	志望理由書とあわせて、本学科で学ぶことへの意欲と志向などについて質問します。さらに、判断力・思考力、コミュニケーション力、協働性、倫理観などを総合的に判断し、点数化して評価します。
保健福祉学部 理学療法学科	—	小論文	100	著書、論文、評論、資料などを題材とする問題で、課題に対する読解力、洞察力、論理的思考力、文章表現力などの基礎学力を総合的に判断し、点数化して評価します。
		面接	100	志望理由書とあわせて、本学科で学ぶことへの意欲と志向、リハビリテーション領域の社会的問題などについて質問します。さらに、理学療法士として主体性と協働性を兼ね備え、チームで活動できる人材として望まれる態度、表現力、判断力などを総合的に判断し、点数化して評価します。
保健福祉学部 作業療法学科	—	小論文	100	著書、論文、評論、資料などを題材とする問題で、課題に対する読解力、洞察力、論理的思考力、文章表現力などの基礎学力を総合的に判断し、点数化して評価します。
		面接	100	志望理由書とあわせて、本学科で学ぶことへの意欲と志向などについて質問します。さらに、作業療法に携わる人材として望まれる態度、積極性、理解力、表現力および明確な目的意識などを総合的に判断し、点数化して評価します。
保健福祉学部 コミュニケーション障害学科	—	小論文	100	著書、論文、評論、資料などを題材とする問題で、課題に対する読解力、洞察力、論理的思考力、文章表現力などの基礎学力を総合的に判断し、点数化して評価します。
		面接	100	志望理由書とあわせて、本学科で学ぶことへの意欲と志向、言語聴覚士についての理解などについて質問します。さらに、対人援助職である言語聴覚士として望まれる態度、思考力、判断力、表現力などを総合的に判断し、点数化して評価します。

(5) 合否判定基準

学部	学科	コース	合否判定基準
地域創生学部	地域創生学科	地域文化コース	小論文及び面接の得点と、出願書類の内容を総合して合否を判定します。
		地域産業コース	小論文及び面接の得点と、出願書類の内容を総合して合否を判定します。
		健康科学コース	小論文及び面接の得点と、出願書類 (TOEFL 又は TOEIC (公開テスト) の結果を含む。) の内容を総合して合否を判定します。
生物資源科学部	地域資源開発学科	—	小論文及び面接の得点と、出願書類の内容を総合して合否を判定します。
	生命環境学科	生命科学コース	小論文及び面接の得点と、出願書類の内容を総合して合否を判定します。
		環境科学コース	
保健福祉学部	看護学科	—	小論文の得点に面接の得点を加えた合計点で合否を判定します。合格最低点での同点者は、面接の得点の高い順に合格とします。ただし、いずれかの得点が一定基準以下の場合には不合格とすることがあります。
	理学療法学科	—	
	作業療法学科	—	
	コミュニケーション障害学科	—	

## 9 帰国生徒特別選抜

### (1) 実施学部・学科及び募集人員

学 部	学 科	募集人員
生物資源科学部	地域資源開発学科	2

### (2) 出願資格等

出願する者は、日本の国籍を有する者（日本国の永住許可を得ている者を含む。）のうち、保護者の海外勤務などの事情により外国の学校教育を受けた者で、次の各号のいずれかに該当することが必要です。

ア 学校教育における12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）のうち、外国において最終学年を含む課程に2年以上継続して在学し、平成30（2018）年4月1日以降に卒業（修了）した者又は令和2（2020）年3月31日までにこれを卒業（修了）する見込みである者

イ 日本の高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。以下同じ。）を令和2（2020）年3月31日までに卒業する見込みである者のうち、中学校・高等学校を通じて3年以上外国の学校教育を受け、かつ日本の高等学校在籍期間が2年未満である者

ウ 令和2（2020）年4月1日現在、満18歳以上の者で、次のいずれかに該当する者

- ① 平成30（2018）年4月1日以降にスイス民法典に基づく財団法人国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格証書を授与された者
  - ② 平成30（2018）年4月1日以降にフランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格に係る資格証書を授与された者
  - ③ 平成30（2018）年4月1日以降にドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格に係る一般的大学入学資格証明書を授与された者
  - ④ 平成30（2018）年4月1日以降にグレートブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル（GCE-A レベル資格）を有する者
- （注）外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を実施している学校に在学した者については、その期間は、外国の学校教育を受けたものとはみなしません。

### (3) 選抜方法

令和2年度大学入学者選抜大学入試センター試験を免除して、書類審査、現代日本語、日本語による小論文及び面接の結果を総合して選抜します。

### (4) 試験科目・配点、内容及び採点・評価の基準

学 部	学 科	科目等	配点	内容及び採点・評価の基準
生物資源科学部	地域資源開発学科	小論文	100	著書、論文、評論、資料などを題材とする問題で、読解力、洞察力、論理的思考力、文章表現力などの基礎学力を総合的に判断し、点数化して評価します。
		面接	100	地域資源開発学科において関心を持つべき事項等に関して質問し、それに対する問題意識、対応力、表現力等から当学科学生としての適性、勉学意欲等を総合的に判断し、点数化して評価します。

### (5) 合否判定基準

学 部	学 科	合否判定基準
生物資源科学部	地域資源開発学科	小論文及び面接の得点と、出願書類等の内容を総合して合否を判定します。

主な変更点等

選抜日程等

アドミッションポリシー

一般・推薦

社会人

帰国生徒

外国人留学生

その他

入試データ

# 10 外国人留学生特別選抜

## (1) 実施学部・学科・コース及び募集人員

学部	学科	コース	募集人員
地域創生学部	地域創生学科	地域文化コース	3
		地域産業コース	5 (経営志向枠3, 応用情報志向枠2)
		健康科学コース	2
生物資源科学部	地域資源開発学科	—	2
	生命環境学科	生命科学コース	2
		環境科学コース	2

## (2) 出願資格等

出願する者は、次の各号のいずれにも該当することが必要です。

- ア 外国の国籍を有する者で、大学において教育を受ける目的を持って入国している者又は入国しようとする者
- イ 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者（次のいずれかに該当する者を含みます。）
  - ① スイス民法典に基づく財団法人国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格証書を授与された者
  - ② フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格に係る資格証書を授与された者
  - ③ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格に係る一般的大学入学資格証明書を授与された者
  - ④ グレートブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル（GCE-A レベル資格）を有する者
- ウ 2019年度第1回又は第2回日本留学試験を受験している者
- エ TOEFL 又は TOEIC（公開テスト）を平成30（2018）年4月1日以降に受験している者

## (3) 選抜方法

令和2年度大学入学者選抜大学入試センター試験を免除して、本学が行う試験及び日本留学試験の結果（TOEFL 又は TOEIC の結果を含む。）を総合して選抜します。

なお、日本留学試験の成績は、2019年度第1回及び第2回の試験のうち得点の高い方を採用します。

## (4) 試験科目・配点、内容及び採点・評価の基準

学部・学科	コース	科目等	配点	内容及び採点・評価の基準		
地域創生学部 地域創生学科	地域文化コース	現代日本語（読解，作文）	100	論説，評論等から出題し，地域文化コースで学ぶ上で必要な読解力及び文章表現力を点数化して評価します。 地域文化コースで学ぶ目的，勉学に対する意欲・志向等について質問し，個性の豊かさ，応答の仕方・態度などを総合的に判断し，点数化して評価します。 学修に必要なコミュニケーション能力を重視します。		
		面接	150			
		○日本留学試験【出題言語：日本語のみ】				
		日本語（読解，聴解・聴読解，記述）	450			
	総合科目		200			
	地域産業コース (経営志向枠)	面接		200	経営を学ぶことに対する意欲・志向，日ごろの関心事などについて質問し，これらに対する応答の能力や内容，態度などを総合的に判断し，点数化して評価します。	
			○日本留学試験【出題言語：日本語のみ】			
			日本語（読解，聴解・聴読解，記述） ※記述問題の配点50点を150点に換算します。	550		
			総合科目	200		
	地域産業コース (応用情報志向枠)	面接		200	応用情報分野で学びたいという志望動機・意欲，情報についての関心度などについて質問し，これらに対する応答の能力や内容などを総合的に判断し，点数化して評価します。	
○日本留学試験【出題言語：日本語のみ】						
日本語（読解，聴解・聴読解，記述）			450			
数学（コース1又はコース2） ※数学200点満点を300点満点に換算します。			300			

(試験科目・配点、内容及び採点・評価の基準の続き)

学部・学科	コース	科目等	配点	内容及び採点・評価の基準	
地域創生学部地域創生学科	健康科学コース	面接	300	健康科学に対する興味・学修意欲、健康科学に関する知識及び理科に関する基礎的事項について試問し、論理的思考力や理解力を問い、その対応の仕方や内容などを総合的に判断し、点数化して評価します。	
		○日本留学試験【出題言語：日本語又は英語】			
		日本語（読解、聴解・聴読解、記述）	450		
		理科（化学、生物）	200		
生物資源科学部地域資源開発学科	—	小論文	200	著書、論文、評論、資料などを題材とする問題で、読解力、洞察力、論理的思考力、文章表現力などの基礎学力を総合的に判断し、点数化して評価します。	
		面接	200	地域資源開発学科において関心を持つべき事項等に関して質問し、それに対する問題意識、対応力、表現力等から当学科学生としての適性、勉学意欲等を総合的に判断し、点数化して評価します。	
		○日本留学試験【出題言語：日本語のみ】			
		日本語（読解、聴解・聴読解、記述）	450		
		理科（物理・化学・生物から2科目を選択）	200		
		数学（コース2）	200		
生物資源科学部生命環境学科	生命科学コース	小論文	200	著書、論文、評論、資料などを題材とする問題で、読解力、洞察力、論理的思考力、文章表現力などの基礎学力を総合的に判断し、点数化して評価します。	
		面接	200	生命科学コースにおいて関心を持つべき事項等に関して質問し、それに対する問題意識、対応力、表現力等から当コース学生としての適性、勉学意欲等を総合的に判断し、点数化して評価します。	
		○日本留学試験【出題言語：日本語のみ】			
		日本語（読解、聴解・聴読解、記述）	450		
		理科（物理・化学・生物から2科目を選択）	200		
		数学（コース2）	200		
	環境科学コース	小論文	200	著書、論文、評論、資料などを題材とする問題で、読解力、洞察力、論理的思考力、文章表現力などの基礎学力を総合的に判断し、点数化して評価します。	
		面接	200	環境科学コースにおいて関心を持つべき事項等に関して質問し、それに対する問題意識、対応力、表現力等から当コース学生としての適性、勉学意欲等を総合的に判断し、点数化して評価します。	
		○日本留学試験【出題言語：日本語のみ】			
		日本語（読解、聴解・聴読解、記述）	450		
		理科（物理・化学・生物から2科目を選択）	200		
		数学（コース2）	200		

(5) 合否判定基準

学部・学科	コース	合否判定基準
地域創生学部地域創生学科	地域文化コース	現代日本語及び面接の得点と、2019年度日本留学試験の得点の合計点及び TOEFL 又は TOEIC のスコアを総合的に審査し、合否を判定します。
	地域産業コース	面接の得点と、2019年度日本留学試験の得点及び TOEFL 又は TOEIC のスコアを総合的に審査し、合否を判定します。
	健康科学コース	面接の得点と、2019年度日本留学試験の得点の合計点及び TOEFL 又は TOEIC のスコアを総合的に審査し、合否を判定します。
生物資源科学部地域資源開発学科	—	小論文及び面接の得点と、2019年度日本留学試験の得点の合計点及び TOEFL 又は TOEIC のスコアを総合的に審査し、合否を判定します。
生物資源科学部生命環境学科	生命科学コース	
	環境科学コース	

主な変更点等

選抜日程等

アドミッションポリシー

一般・推薦

社会人

帰国生徒

外国人留学生

その他

入試データ